

活動報告

団体名	一般社団法人ふるさと発・復興志民会議
活動名	被災地域の農地復旧支援と農村集落の維持再生と住民の自立を促す支援活動
活動期間	2016年10月～2017年9月
活動の成果	<p>(一社)ふるさと発・復興志民会議は、熊本地震で被災した人々の「農と暮らしを守る」ことを目的とした中間支援組織（行政と住民をつなぐ組織）として平成28年5月に発足しました。（地域社会学の専門家で熊本大学名誉教授の徳野貞雄が、地域活動において協力し合ってきた仲間や知人に呼び掛けて立ち上がった団体です。）</p> <p>この年の夏に活動をスタートしてから熊本県の御船町と山都町において、行政と住民が一堂に会して復興について意見交換し合う「復興会議」を開催しました。</p> <p>以来、御船町においては「復興計画策定のための地区座談会」をコーディネートし行政と住民の橋渡しを務め、山都町においては住民の自主組織「山都町棚田復興プロジェクト」の立ち上げに関わり、農業ボランティアを組織しての農地復旧のための活動をサポートしています。</p> <p>このような活動を通して、震災からの復興にとどまらずに、農と暮らしの大切さを再発見し、その継続と更なる発展を志す団体として進んでまいります。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>このたびは、(一社)ふるさと発・復興志民会議の活動にご協力を賜り、心より感謝申し上げます。</p> <p>私どもは、熊本地震で被災した人々の「農と暮らしを守る」ことを目的とした中間支援組織（行政と住民をつなぐ組織）として営為活動を展開しております。</p> <p>この復興支援活動を通して、農と暮らしの大切さを再発見し、その継続と更なる発展を目指して進んでまいります。</p> <p>どうぞ今後ともよろしくお引き立てのほどお願い申し上げます。</p>

(活動のようす)

